

一瀬先生、教えて！ エイジングケアの ウソ？ホント？

ウワサのエイジングケアの真意を、
神戸大学美容外科診療科長 一瀬
晃洋さんに聞いてみましょう。

神戸大学美容外科診療科長
一瀬晃洋 さん

神戸大学医学部卒業後、同大学院を経て2008年より現職。
顔面のタルミのほか、美容医療全般を専門とするエキスパー
ト。日本美容外科学会(JSAPS)、日本形成外科学会専門医。



そろそろエイジングケア 始めませんか？

Q2. 徹底した日焼け対策は夏だけで
はダメって

ウソ？ホント？

A. ホント

日焼けはシミ、シワの大敵。日焼け止め
クリームは年中塗り、外出時は帽子やサ
ングラスでカットを。

Q1. タバコは老化を早めるって
ウソ？ホント？

A. ホント

喫煙者は傷も治りにくく肌への影響は
著しい。喫煙者のそばで副流煙に当たる
のも肌にとってはダメージ。

Q4. 日々のセルフマッサージはシワ
予防の効果があるって

ウソ？ホント？

A. ウソ

こすることにより肌は傷んで老化が進
行。オイルクレンジングも良くない。引
っ張ることにより顔の皮膚はタルんで
いく。

Q3. 韓国コスメで人気の毒ヘビなど
のエキス。シミやシワに良いて

ウソ？ホント？

A. ウソ

これらの成分は分子量が大きく、皮膚
に外用して吸収させることはほぼ不可
能。シミやシワをとるといふ医学的根
拠もなければ安全性も確かではない。

欧米で始まった美容医療が日
本で広まるのは1980年代。
このころは知識や技術が不十分
で、美容医療は怖いものという
認識がありました。しかしイン
ターネットの普及で美容医療へ
の捉え方も変化。年月を経て安
全で効果的な治療が残ってき
てると神戸大学美容外科診療科
長一瀬晃洋先生は話します。近
年はレーザーや注入剤も格段に
進歩し、メスを入れない治療が
増加。「ダウンタイム(回復期)も
短く周りに気づかれないし、傷
跡も残りません」。美容医療は今
気軽で身近になっています。「た
とえばヒアルロン酸一つとって
も多種多様。すぐに元に戻る水
のようなヒアルロン酸から戻り
にくい硬いヒアルロン酸まであ
り、注入する注射針も種類が増え
痛みを軽減し腫れを防ぐものも
あります。ポリニューメトリック

リストレーションはシワ・タルミ
の最新治療で、自分の脂肪やヒア
ルロン酸を注入して若い頃の顔
を取り戻していく施術法。ここ2
3年の治療の進化は目覚ましい
です」。その一方で問われるのが
医師の技術力と倫理観。「良い薬
剤や機器も使い方次第。顔の状態
を見て仕上がりや予測、注入量や
注入部位を決めるのは経験が頼
りで容易ではありません。コスト
のかかる認可薬を使うかどうか
も医師に一任されています」。で
は信頼できる医師や病院に出会
うにはどうすればいいのでしょ
うか。一つの基準として、日本美
容外科学会(JSAPS)や日本形成外
科学会の専門医を選ぶことです。
「成功を望むより失敗しないこと
を頭に置いてください。新しい治
療は危険なものが多いので気を
つけて、生涯プランを考えて確
かな美容医療を受けましょう」。

増えていくシミやシワ、体型の崩れ。年齢を重ねると鏡の前に
立つのが億劫になります。そこで注目したいのが、昨今進化が
目覚ましいエイジングケア。プロによる最新ケアから気軽に
できるセルフケアまでを紹介。いつまでも若々しくいるため
に、自分らしいケア方法を見つけましょう。